



き 喜 田 利 喜  
く だ と し き  
(創生会)

## 産業振興の課題は 担い手や労働者の不足解消



こちらから視聴できます

**問** 本市の基幹産業は一次産業であるとの認識は市長も共有されていると思うが、今後の方向に進もうとしたときに考えられる課題は何か。

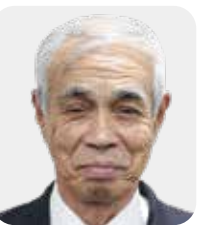
**答** 全ての産業における課題として、担い手や労働力の不足が挙げられる。漁業においては新たな機器導入等により生産性の向上が図られれば、さらなる人手不足であっても、経営を改善することが可能であると思われる。農業においては、生産効率の向上や、労働環境の改善が図られることが重要であると考えている。

**問** 交流人口・観光が地域を支える経済になると考えているか。

**答** 地域内の需要のみで経済を維持・拡大することは困難であることから、大学生や



産業振興のカギは省力化



く 倉 泰 治  
く くら たい じ  
(日本共産党)

## 市独自の物価高対策は まずは国の責任で講じるべき



こちらから視聴できます

**問** 物価高騰対策は、国待ちではなく、市独自の判断はどうか。

**答** まずは、国が責任をもつて対策を講じるべきだと思う。その代わりのことを市が行うと財政が破たんしてしまう。



好評だったプレミアム付商品券

**問** 市長は「財政破たん」「限られた財源」と言うが、今回の決算で財政指標は良くなっている。受け止めはどうか。

**答** 継続して安定した財政運営が図られている。

**問** いずれ「国待ち」「財政がない」では済まない。市長自身の判断を示すべきでは。

**答** 議員の思いはしっかりと受け止めながら今後も努めていく。

**市内産直への支援は**

**問** 市内の産直や直売所の経営改善に向けた検討状況はどうか。

**答** 産直の場所の移転や再編、施設のリニューアル等について検討を行っている。今後、具体的な対応案を示していく。

**生出の道路整備は**

**問** 矢作町生出地区の県道整備について市の対応はどうか。

**答** 県は県道世田米矢作線の改良整備を新規事業化した。市として用地交渉などを支援していく。



お づ ぼ り ょ う こ  
お 大 坪 涼 子  
(日本共産党)

## 介護事業所への支援は 助成金や基金活用を検討



こちらから視聴できます

**問** 訪問介護報酬引き下げで介護事業所への影響はどうか。

**答** 昨年度、国の介護報酬改定で約2〜3%の基準報酬が引き下げられた。市内6カ所の事業所へ影響もあるが危険な状況ではない。

**問** 訪問介護報酬引き下げに相当する減益分として、基金活用等による支援はどうか。

**答** 助成金の交付や介護給付費準備基金の活用を含め検討する。

**認知症の対応拡充は**

**問** 認知症患者とその家族に対する相談体制や生活支援などの拡充は。

**答** 地域包括支援センターでの窓口で保健師、認知症地域支援推進員等が家庭の様子や困りごとを聞き取り、医療や介護などのサポート体制の情報を案内している。



認知症支援に取り組む  
「チームオレンジたかた」

**震災15年関連事業は**

**問** 能登半島地震の被災地支援の取り組みはどうか。

**答** 市職員が珠洲市を訪問し助言を行い、本市が開発や企画に携わった電話を使用した安全確認システムが導入される。

**問** 来年の大震災津波15年の節目に防災を学ぶ市民的な企画は。

**答** 市のイベントだけでなく、県の津波伝承館等と連携し企画する。



な かの た か ひろ  
中 野 貴 徳

## スポーツのまちづくりは 推進計画を進め活性化を図る



こちらから視聴できます

**問** 開催時期が異なるイベントを相互に関連付けし、複数回の来訪を促す取り組みは。

**答** スポーツイベントの参加や観戦を目的とした地域への訪問のほか、観光とスポーツを掛け合わせたスポーツツーリズムに取り組んでいる。

**問** スポーツによるまちづくりの取り組みは。

**答** 第2期スポーツ推進計画の策定を進め、誰もがスポーツに親しめる環境整備や大会・合宿誘致などを推進し、生涯スポーツの振興に取り組む。

**地域団体の担い手は**

**問** 市内コミセンや自治会などの担い手不足の対策は。

**答** 多くの団体や組織で担い手不足が生じている。持続的運営のため、現行の体制で実施が難しい事業の見直し、活



力強く疾走する参加者（ツール・ド・三陸）

動範囲の再検討が必要と考えている。

**旧吉田家活用は**

**問** 旧吉田家住宅主屋が日本遺産「みちのくGOLD浪漫」に追加認定された。今後の活用策は。

**答** 見学だけでなく、貸切り使用も可とし各種講座など利用促進を図る。